

# 中 部 N O W

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・中部日本研修センター会報

第308号

令和3年 新年号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター

〒470-0328 豊田市勘八町勘八27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103

E-mail: chubu@oisca.org http://www.oisca.org/



## 新年のご挨拶

(公財)オイスカ愛知県支部会長 光岡保之

新たな令和3年がオイスカを始め、全ての皆様に希望に満ちた年になりますことを心からご祈念申し上げます。  
迎えました本年は(公財)オイスカにとって60周年の節目の年でありま

す。昨年11月にオイスカ支援連携サミットがリモートで開催され、オイスカ本部からは研修センター運営の基本方針が示されました。

それに基づいて国内4研修センターから10か年計画が公表されました。もちろん中部日本研修センターからも小杉所長さんから10か年の長期計画が具体的な数値目標まで添えて発表されました。

愛知県支部としては中部日本研修センターの計画を真正面から受け止め、内容を共有し、強力に支援してまいります。

今一つは会員拡大の一環として、既存の推協の活性化と新規推協の立ち上げを図り、県内にオイスカの根を張る運動を推進してまいります。



## 新年のご挨拶

オイスカ中部日本後援会会長 水野 明久

新年を健やかに迎えたいと心からお喜び申し上げます。昨年は、全世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされた一年でありました。我が国においては、社会経済活動が停滞し、企業の倒産や雇用の喪失とともに、全国民が生活様式を変えざるを得ないほど、深刻な影響を受けました。オイスカ愛知県支部においても会員数の減少、研修生との交流会をはじめ諸行事が中止や延期となる等、様々な影響を受けた年でもありました。しかしながら、現在ワクチンの開発・量産が進みつつあり、人類の英知によって、コロナ禍が一日も早く収束に向かうことを切に願ってやみません。本年はオイスカ・インターナショナル設立から60周年という節目の年であり、豊田市の国際協力支援シンポジウム、全国大での海岸林再生プロジェクトの活動報告会など記念事業が計画されていると伺っております。オイスカ中部



日本後援会といたしましても、財政面からの支援を基軸に、オイスカ活動が未永く続くよう、尽力して参る所存であります。本年も、会員の皆さまの変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

(公財)オイスカ中部日本研修センター所長 小杉裕一郎

会員のみならず、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、オイスカ中部日本研修センターへのご支援・御協力をいただき、大変ありがとうございました。

昨年は、コロナ感染拡大の影響で、多くの行事・イベントが中止となり、春以降は研修生・技能実習生の出入国の目途が立たず、センターとしても大きな影響を受けました。

一方でマレーシア・タイ・フィジーから研修生を迎えることができ、農業・国際協力の2コースの研修を無事実施することができました。また技能実習生は10月以降、入国が再開され新たに16名の技能実習生を受け入れることができました。

本年は、オイスカ創立60周年という記念の年となります。愛知県支部・県下推協の皆様と連携しつつ、会員の皆様のご支援を励みに、地域に根差した



愛されるセンター運営に努め、「研修の充実」を一層推進し、会員の皆様の期待に応えてまいります。



## 四センターサミット開催

12月11日(土)、オイスカ本部と西日本・四国・関西・中部日本の四支部会長、センター所長が参加し、リモートによるサミット(会議)が開催されました。当日に予定していた公開シンポジウムは、コロナ感染拡大を受けて、延期となり、来年度開催に向けて準備調整を進めることとなりました。

本会議(サミット)は、光岡保之愛知県支部会長が理事会で提案され、実現の運びとなったもので初めての開催となりました。

会議では、来年度(令和3年度)オイスカ創立六〇周年を迎えるにあたり、各センターが10か年計画を策定、発表・共有し、課題を抽出、本部がとりまとめ、今年2021年を10か年計画のスタートの年にしようとするものです。

本部からは「研修センター運営の基本方針」が示され、法人全体として取り組む10か年構想が発表されました。

これを受け、国内4研修センターの10か年計画の発表があり、実行計画と課題を共有しました。特に技能実習生受け入れの位置づけ、研修生と技能実習生指導の両立について、国内センター・支部間の連携についても意見交換が行われました。

愛知県支部10か年計画では、名古屋・知立・豊橋・豊川・田原等重点地区への推協設立による会員増強、既存推協の活性化に取り組みの中部研修センター10か年計画では、農業研修生と技能実習生の受け入れ拡大と対策等が発表されました。またそのための体制の充実化、本業である研修事業の重点化などが発表されました。これらの目標を達成するべく中部センター・支部が一体となって推進することが確認されました。

小杉裕一郎(筆)

センター名	職員数	会員数
中部センター	16名	826
四国センター	7名	953
西日本センター	18名	782
関西センター	3名	79

センター名	農業生産額
中部センター	11,638,684円
四国センター	8,217,360円
西日本センター	22,603,591円
関西センター	—

センター名	研修生	技能実習生
中部センター	6名	58名
四国センター	9名	18名
西日本センター	19名	22名
関西センター	—	40名

## 研修生その後の活動(その4)

### 2019年農業一般研修OBのソヌくん

インドのケララ州でCFPコーディネーターとして活動しています。植えているのはナゴと言う種類の木。コロナの影響で小学校でのCFP活動は出来ないものの、仲間達と一緒に、植えた木の管理をしたり、センターで栽培したバナナの収穫をしたり今出来る事をやっています。小学校の子ども達も自宅で植林に使う苗木を育ててくれているそうです。

帰国前のアクションプランでは、CFP活動の活性化、スクールガーデンでの野菜栽培指導、バナナ栽培での収益増加を目指すと発表してくれました。

ほとんどの活動が止まっている中でも、少しずつ前に進もうと頑張っています。

インタビュアー 筑田明生





## トヨタファーム・(有)ワイルドグース技能実習生修了式

12月18日(金)トヨタファーム技能実習生ウィン(ミャンマー)・タン(ミャンマー)、(有)ワイルドグース技能実習生ハズミ(ミャンマー)の技能実習修了式が執り行われました。

式には3年間お世話になった、トヨタファームの鋤柄雄一社長、(有)ワイルドグースの大久保努社長にもご出席頂きました。

日本で学んだ事、国に帰ってからの目標を熱くスピーチしてくれました。トヨタファームのウィンはスピーチで「日本は私の先生です。日本のおかげで困難があっても乗り越えられるようになりました。今はありがとうを言うことしかできません。いつか、日本人と日本の国に何かやってあげられることがあると思います。」と述べていました。

3名を厳しくも沢山の愛情をもってご指導して下さいました。トヨタファーム、(有)ワイルドグースの皆様、本当にありがとうございました。彼らの国での活躍が楽しみです。

中村 仁美(筆)



## 12月研修生の活動 筑田 明生(筆)



昨年の研修生はセンターで雪を見る事が出来ませんでしたでしたが、今年は少し積りました。皆およろこび。



収穫した野菜を手に記念撮影。今年も皆がんばりました。



豊田東高校の学生が交流に来てくれました。ニンジンとジャガイモの収穫体験をしました。



豊田市役所国際まちづくり推進課のお二人がオイスカの研修を体験しに来て下さいました。研修生に豊田市が取り組む外国語対応の相談窓口の紹介などもして頂きました。

## 基礎研修修了式

12月25日(金)秋田ダイハツ販売(株)(マレーシア2名)、(有)小池牧場(マレーシア1名)、(有)清明エンジニアリング(マレーシア2名)、(有)フジ設備(マレーシア2名)、沖縄農業実習生(フィリピン2名)の基礎研修修了式が執り行われました。9名は日本の技術を学ぶことを楽しみに希望をもって入国いたしました!

これから3年間お世話になります。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

中村 仁美(筆)



## 更新会員名簿(649/827)

安城(60/75) 安城市長  
尾張一宮(5/6) 自由民主党愛知第十選挙区支部、一宮商工会議所  
刈谷(32/42) 刈谷市役所、知立神社  
豊田(196/251) 株式会社 豊田スタジアム  
名古屋(53/60) アイシン精機 株式会社、おこのみ焼三五、株式会社 豊田自動車、おこのみ焼三五、株式会社 豊田自動車、日本特殊陶業 株式会社  
丹羽(53/62) 松浦邦彦  
半田(20/26) 株式会社 梅定  
センター(30/44) サーラエナジー株式会社  
三重(23/25) 川喜田淑

## 新入会(個人)

吉川久喜子(名古屋)  
大塚祥之(清須市)  
七田隆二(名古屋)  
富安英樹(名古屋)  
鈴木覚(名古屋)  
上地高司(豊田市)

## 新入会(法人)

株式会社 GUNSHI コーポレーション(名古屋)  
日本ゼネラルフード 株式会社(名古屋)  
有限会社小池牧場(豊田市)

## 寄付金

富田司(常滑市)  
グレゴリー・エイヤユ(豊田市)  
山口朝子(日進市)  
知立神社(知立市)  
リネットジャパングループ 株式会社(大府市)  
神野春光(名古屋)  
オイスカ碧南高浜推進協議会(高浜市)  
オイスカ刈谷推進協議会(刈谷市)  
オイスカ豊田推進協議会(豊田市)  
オイスカ岡崎推進協議会(岡崎市)  
オイスカ安城推進協議会(安城市)  
村松明(西尾市)

## 寄付品

近藤産興 株式会社(名古屋)  
松石裕就(名古屋)  
光岡保之(豊田)  
福田耕司(豊田)  
信濃化学工業 株式会社(長野)  
太啓建設 株式会社(豊田)  
彦坂祐而(豊田)  
松岡浩(株)タニサケ(岐阜県揖斐郡明保澄雄(岡崎))  
オイスカ四国研修センター(香川県酒向淳治(豊田))  
鈴木康予(豊田)  
市脇公平(大府)  
中村浩之(豊田)  
信濃屋豆腐店(豊田)  
加藤善昭(名古屋)  
倉橋靖俊(豊田)  
トヨタファーム(豊田)  
渡辺素巳(瀬戸)  
坂下瑞萌(岡崎)  
東洋金属 株式会社(丹羽郡扶桑町)

## オイスカ卵の販売

・遺伝子組み換えでない  
トウモロコシを餌に使用  
・平飼いの鶏から産まれた  
新鮮たまごをお届けします  
6個入りパック 240円  
10個入りパック 400円

## インクカートリッジ

安成工業 株式会社(安城市)  
有限会社 井上建築設計室(碧南市)  
ガールスカウト愛知県第33団(豊田市)  
愛知製鋼 株式会社(東海市)  
松石裕就(名古屋)

## ベルマーク

有限会社 井上建築設計室(碧南市)  
ガールスカウト愛知県第33団(豊田市)  
愛知製鋼 株式会社(東海市)

## 書き損じはがき

加藤周子(西尾市)  
加藤みつ子(豊田市)